

発議第2号

日米F T A（自由貿易協定）に反対する意見書

標記について、会議規則第14条の規定に基づき提出する。

平成22年3月24日提出

提出者 高山市議会議員 杉 本 健 三

賛成者 高山市議会議員 下 山 清 治  
伊 鳶 明 博  
中 田 清 介  
水 門 義 昭  
野 村 末 男  
木 本 新 一  
中 箴 博 之  
岩 垣 和 彦

## 日米F T A（自由貿易協定）に反対する意見書

現在、日本はかつてない経済不況に陥り、消費の低迷、販売価格の下落など、きわめて厳しい状況にある。

こうした中、日米F T A（自由貿易協定）の締結問題が、生産現場にきわめて大きな不安と動揺、混乱を与えている。この影響は交渉中の豪州を始め、中国などのアジア・太平洋諸国に波及し、我が国の農業は今後壊滅に等しい状況になりかねない。米国は最大の関心品目でもある米、牛肉、さらに麦や豚肉、オレンジ等の関税撤廃を求めてくることは必至である。

国民が安全安心な食料の自給率向上を求めている今日、農家は農業が地域経済を支える重要な基幹産業であるという認識のもと、安全安心な食料生産に励んでいる。日米F T Aを認めることはこうした農家の意欲を奪うものであり、農業がこれまで果たしてきた国土保全などの多面的機能の喪失にもつながるものである。

よって国におかれては、日本農業を崩壊に導く日米F T A交渉を行わないことを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月24日

高山市議会